

～運動会でのご声援 ありがとうございます～

5月28日(日)に実施しました運動会では、保護者の方をはじめ多くの方に温かいご声援をいただきました。子ども達への大きな力になりました。ありがとうございました。

本番までの練習期間中は暑い日が続き、熱中症も心配されました。水分補給や休憩を適宜入れつつ、短時間かつ短期間での練習となりましたが、子ども達は集中力を発揮して本当によく頑張りました。私からの宿題「応援して下さった方への『ありがとう』」は、聞かれたでしょうか。行事以外でもそうですが、「してもらって当たり前ではないこと、して下さった方への感謝の思いをもつこと」など、機会を見つけては子ども達に語りかけていきます。今後とも子ども達へのご支援をよろしくお願いいたします。



【お子様や保護者の方に困り感はありませんか】

市政だより5月15日号に掲載されていた「発達障害による特性・特徴と上手に付き合うために」の記事から一部抜粋です。

困っていませんか？発達障害には次のような特性・特徴がある人もいます。

人とよくトラブルを起こしてしまう。落ち着きがない。集団生活が苦手。文章の作成や計算が極端に苦手。

《発達障害とは？》 発達障害は、生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。子どもにも大人にもこれらの特徴をもつ人

がいます。自閉症スペクトラム障害(アスペルガー症候群など)や注意欠如・多動性障害(ADHD)などが含まれます。早い時期からの周囲の理解と、能力を伸ばすための必要な支援や環境の調整が大切です。

ある保護者の方の話です。友達とのトラブルが多く、保護者の方も悩んでいらっしゃいました。卒業前に医療機関へ相談されたのですが「もっと早く相談しておけばよかった。わがままと思って、叱ってばかりだった。」とおっしゃっていたのが忘れられません。よりよい方法やトレーニングが身に付いていれば、もしかしたら避けられたトラブルかもしれません。相談先は、学校を通した相談機関もあれば医療機関等、様々あります。スクールカウンセラーが来校する日もあります。貴重な6年間です。もしもお子様や保護者の方で困り感があるようでしたら、どうぞご相談ください。

【 学校運営協議会の皆様のご紹介 】

「地域とともにある学校づくり」を目指して、学校と保護者、地域の方が知恵を出し合っ
て子ども達をよりよい方向へ育てていきます。1年間よろしくお願いいたします。

葛原校区自治連合会会長

葛原市民センター館長

葛原保育園 園長

一般社団法人「スピードワゴン」代表理事

葛原校区主任児童委員

葛原小学校PTA会長

文部科学省は昨年、10年ぶりに通常学級において特別な教育的支援が必要な児童生徒の調査をした。公立小中学校の通常学級で、知的遅れはないものの学習面または行動面に著しい困難があり「発達障害」の可能性のある子が8.8%いた。調査方法が変わったため単純比較はしにくいですが、前回調査より2.3ポイント増えた。
(朝日新聞 令和5年4月10日 より抜粋)